

単元名「地域の魅力をPR！」

【目標】笠懸の地域について歴史や大昔の人々の生活等を調べ体験する活動を通して、地域の昔の人々の知恵や技術を理解し、地域の特徴やよさを魅力的に伝えられる方法を考えると共に、地域社会に向け発信することができるようにする。

【ゴールイメージ】
〈児童の思い〉
知らせたい・伝えたい

笠懸町の魅力を
多くの人に発信しよう！

思いを〈形〉にする

【表現活動の工夫】

〈ICT活用・表現・発信〉

- ・ポスター
- ・動画
- ・パンフレット

〈ICT活用・思考ツール〉

- 座標軸
- ビデオ会議
- webアンケート

〈ICT活用 思考ツール〉

- ジャムボード
- スライド
- ウェビングマップ
- KJ法



まとめる

探究課題を振り返って、初めの思いとどう変化したか

追究する② いかす・広げる

新たな追究課題の設定
→情報の収集
→整理分析
→まとめ・表現

〈思い〉をつなぐ

【他者との関わり】

- 岩宿博物館(体験活動講師)
- みどり市役所の方
- 岩宿遺跡発見
(相沢忠洋さんの思い)

人

追究する① 過程

追究課題の設定
→情報の収集
→整理分析
→まとめ・表現

- 岩宿博物館見学
- 三種体験
(石器作り・勾玉作り・アンギン編み)
- 土器作り・土器焼き
- 岩宿人体験
(弓矢・やり投げ・石器体験)
- 岩宿文化賞

こと
体験

つかむ

探究課題の設定
追究の見通しを立てる



出会う【出会いの演出】

主体的・対話的で
深い学びの実現ための

思いをもつ

体験活動

写真


実物


●単元の評価規準


知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
<p>① 郷土を開いた人々の思いを学び、地域の未来像や自分たちの生活との関わりに気付いている。</p> <p>② 地域の課題解決のために、資料やICTを活用し、目的に合った方法で必要な情報を収集している。</p> <p>③ 地域について自分なりの課題意識をもち、それに基づいて考えを実践したことは、探究的に学んだ成果であることに気付いている。</p>	<p>① 活動の意図や目的を明確にして地域の課題を見だし、解決方法や手順を考え、見通しを持って計画を立てている。</p> <p>② 目的に応じて方法を選択し、地域の情報を収集したり、発信する情報を選んだりしている。</p> <p>③ 地域の課題の状況と自分たちの経験を、視点を明確にして関連付けたり多面的に考察したりして、多様な選択肢の中から適切なものを選んでいく。</p> <p>④ 相手意識や目的意識をもって地域の魅力を伝える表現方法を選択し、工夫してまとめ、表現している。</p>	<p>① 地域の魅力を発信するために、自他の良さを生かしながら協力して課題解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。</p> <p>② 自分の特徴やよさを理解するとともに、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しながら、探究的な活動に取り組もうとしている。</p> <p>③ 探究的な活動を通して、進んで地域の問題の解決に取り組もうとしている。</p>

●活動の流れと評価の計画（全70時間）

	【学習活動】	教師のコーディネート	知	思	態	評価方法
つかむ	笠懸町の魅力について調べよう（30時間）					
	<p>【探究課題と出会う】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「笠懸町」について知っていることを出し合う。 ・岩宿博物館について調べ、実際に見学する。 ・古代人の暮らしや岩宿遺跡について調べる。 ・体験活動を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・笠懸町にはどんな特色があるのか、個人・グループなどで考えると共に調べ活動を行う。また、各自で調べたことをクラスで意見交流し、共通点を共有させる。 ・<u>岩宿博物館と連携</u>（a）がとれるように体験活動と学習の方向性について共通理解を図る。 ・関連する本やホームページなどを事前に確認し、助言できるようにしておく。 ・岩宿遺跡について知っていることを出し合うと共に、岩宿遺跡の発見と歴史上における意義、岩宿遺跡の時代（岩宿時代）にはどのような生活をしていたのかなど、改めて調べて知ったことを整理させる。 ・体験学習をより充実させるために、古代人の暮らしで使われていた道具は何のために使われていたのか、どのように作っていたのかを調べさせる。（石器作り、勾玉作り、 				

	<p>【単元の課題を把握する】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩宿遺跡の知名度や博物館の来場者数などを調べ、気づきや疑問を出し合う。 	<p>アングイン編布作り、土器作り、土器焼き、弓矢体験、やり投げ体験、石器体験)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要な情報を取捨選択できるようにするために、調べる内容や観点、方法を明確にする。 ・関連する事柄を事前に調べておき、現実とのずれ（岩宿遺跡の知名度や岩宿博物館の来場者数）を子どもたちと共有することで「もっと笠懸町の魅力を伝えたい」という課題の設定へとつなげる。 ・関連するホームページなどを、事前に用意しておく。 			<p>①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発言内容
<p>【単元の課題】 笠懸町のためにできることを考えよう ～笠懸町の魅力をPR！～</p>					
	<p>【追究の見通しをもつ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのようなことに取り組んでいくか計画を立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの町には、数万年前から人々が生活していたこと、それを証明する日本有数の遺跡があることをまとめ、今後の活動計画を立てられるよう支援する。 ・調べたことと体験したこと、自分の考えを組み入れて、レポートなどにまとめられるようにする。 		<p>①</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート
<p>岩宿遺跡は、日本の歴史における大発見だったんだな。それが、笠懸町にあるって、すごく魅力的なことだな。自分たちが取り組んだ体験活動って、貴重な学習だったな。この楽しさを、もっと多くの人と分かち合いたいな。笠懸町の魅力をもっともっと広めないともったいないな。自分たちだからこそ、もっと笠懸町の魅力をPRしていかなくちゃ。</p> 					
<p>笠懸町の魅力を伝えよう（24時間）</p>					
<p>追究する ①</p>	<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の魅力を発信することについて、追究の見通しをもとに課題を設定する。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PRの仕方や、岩宿遺跡に 	<ul style="list-style-type: none"> ・笠懸町の魅力を伝えるという目標を確認しながら、これまでの取組を振り返るようにする。 ・PRをする相手、場所等を明確にする。 <u>（岩宿博物館にも協力してもらう）（a）</u> 	<p>②</p>	<p>②</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しボード ・思考ツール（ジャムボード）

	<p>ついてもっと知りたいことなど、必要な情報を収集する。</p> <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集した情報を整理し、PRの仕方を考える。 ・PRの仕方について、効果や実現可能性を話し合う。 <p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでのまとめとして、実際にPR活動をする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一人が主体的に取り組めるよう、役割分担をしっかりと行うようにする。 ・PRを実行するのに、どんな物が必要か、どんな練習が必要かを考えさせる。 ・PRをよりよいものにするために、練習の場を設け、子ども同士でアドバイスをし合うことができるようにする。 ・<u>実際にPRし(c)</u>、良かった点や改善点などについて自己評価(グループでの評価)を行うことで、新たな課題につなげる。 	③	②	<ul style="list-style-type: none"> ・準備の様子 ・練習の様子 ・発言内容 ・ワークシート ・発表の様子 ・見通しボード
<p>笠懸町の魅力である岩宿遺跡について、地域の人に伝えることができたな。もっと多くの人に知ってほしいな。体験学習でお世話になった方々にも喜んでほしいな。笠懸東小の6年生だからこそできることをしたいな。</p> 					
<p>追究する ②</p>	<p>笠懸町の魅力を伝えよう(15時間)</p>				
<p>【課題の設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・探究課題を振り返り、今後の活動について話し合う。 (予想される活動) ・岩宿博物館で行うイベントを考えて企画し、岩宿博物館に提案しよう。 <p>【情報の収集】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントを企画するにあたり、必要なことや大切なことは何かなどについて、情報を収集する。 <p>【整理分析】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収集した情報を整理し、イベントを企画する。 ・考えたイベントについて、効果や実現可能性を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・笠懸町の魅力を伝えるという目標を確認しながら、これまでの取組を振り返らせる。 ・身近な経験から、自分たちにできることを考えられるようにする。 ・<u>岩宿博物館の方や市の観光課の方(b)</u>に協力してもらえよう、準備をしておく。 ・今までに配付したイベントのチラシなどを用意しておき、必要に応じて提示する。 ・一人一人が主体的に取り組めるよう、役割分担をしっかりと行うようにする。 ・企画書を作成するのに、どんな物が必要か、どんな工夫が必要かを考えさせる。 ・企画書がよりよいものになるように、お互 	②	②	<ul style="list-style-type: none"> ・見通しボード ・思考ツール(ジャムボード) ・準備の様子 ・発言内容 ・企画書 	

	<p>【まとめ・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでのまとめとして、実際にイベントの企画書を作り、提出する。 	<p>いに見合う場を設けて子ども同士でアドバイスをし合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際に企画書を作成し (b) 発表することで、良かった点や改善点などについて自己評価 (グループでの評価) を行う。 岩宿博物館の方や市の観光課の方 (b) に協力してもらえるよう、準備をしておく。 		④	<ul style="list-style-type: none"> 発表の様子 企画書 見通しボード
<p>自分たちがPRすることで、笠懸町の魅力を知ってくれる人が、もっと増えたらいいな。 岩宿遺跡や岩宿博物館がもっと有名になったらいいな。 自分たちの企画を喜んでもらえるといいな。 笠懸町の役に立てたらうれしいな。</p> 					
<p>ま と め る</p>	<p>一年間を振り返ろう (1時間)</p> <ul style="list-style-type: none"> これまでの学習を振り返り、頑張ったことや成果を話し合う。 活動して考えたことや自分の意識が変わったことなどについてまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価を行ったり、友達と話し合う場を設けたりすることで、自分の活動を肯定的に振り返ることができるようにする。 	③	①	<p>ワークシート</p> <p>ワークシート</p>

活用する学習支援ソフト	Google (あ)
活用するコンテンツ	ジャムボード (ア)
活用する人材	岩宿博物館の方 (a)、市役所の方 (b) 地域の人 (c)

総合的な学習の時間学習指導案

単元名 「 地域の魅力をPR！ ～岩宿体験を通して～ 」

令和5年10月30日（月） 第3校時 6年1組教室
みどり市立笠懸東小学校 6年1組 指導者 木村 友彦

I 単元の構想

1 単元の目標

単元の目標	笠懸の地域について歴史や大昔の人々の生活等を調べ体験する活動を通して、地域の昔の人々の知恵や技術を理解し、地域の特徴や良さを魅力的に伝える方法を考えるとともに、地域社会に向けて発信することができるようにする。		
児童の実態	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
	・社会科の歴史学習を通して、先人の努力について調べ、笠懸の良さを認識している。	・学習したことや調べたことを、模造紙やスライド等を使ってまとめる経験を通して、情報を取捨選択する力を身に付けつつある。	・まとめたことを学級内で発表する経験を通して、友達と協力して学び合うことの良さを実感している。

2 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
① 郷土を開いた人々の思いを学び、地域の未来像や自分たちの生活との関わりに気付いている。 ② 地域の課題解決のために、資料やICTを活用し、目的に合った方法で必要な情報を収集している。 ③ 地域について自分なりの課題意識をもち、それに基づいて考えを実践したことは、探究的に学んだ成果であることに気付いている。	① 活動の意図や目的を明確にして地域の課題を見だし、解決方法や手順を考え、見通しを持って計画を立てている。 ② 目的に応じて方法を選択し、地域の情報を収集したり、発信する情報を選んだりしている。 ③ 地域の課題の状況と自分たちの経験を、視点を明確にして関連付けたり多面的に考察したりして、多様な選択肢の中から適切なものを選んでいく。 ④ 相手意識や目的意識をもって地域の魅力を伝える表現方法を選択し、工夫してまとめ、表現している。	① 地域の魅力を発信するために、自他の良さを生かしながら協力して課題解決に向けた探究活動に取り組もうとしている。 ② 自分の特徴やよさを理解するとともに、異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重しながら、探究的な活動に取り組もうとしている。 ③ 探究的な活動を通して、進んで地域の問題の解決に取り組もうとしている。

3 指導及び評価、ICT活用の計画 ※別紙参照

4 探究課題の価値

日本列島の人類史を書き替えた岩宿遺跡。岩宿博物館では、約4万から約1.5万年前の昔に日本列島に展開された人類の生活を、全国的な規模での展示資料を通して再現しており、各種イベントを通して古代人の生活を体験することもできる。

児童は第3学年で地域の特徴や良さを、第4学年で阿左美沼を中心とした環境問題を、第5学年で米作りを通して農業を、それぞれ地域と関わりながら学習してきている。さらに本単元では笠懸がもつ歴史的価値や、現在の笠懸がもつ課題について学ぶとともに、自分たちが住んでいる笠懸の良さをより多くの人々に知ってもらうための活動に取り組んでいく。その過程の中で「郷土を開いた人々の思いと地域の未来や自分たちの生活との関わり（相互性）」などの概念的知識を獲得することができる。また、社会科の古代の学習や、国語の文章要約や文章の割り付け、算数のデータ活用など、各教科との関連を図り横断的・総合的に学習を進めていく中で、岩宿の魅力や課題を客観的データで多様な角度や側面から俯瞰して捉えたり、効果的なPR方法を考えたりするなど、探究活動を進めていくことができる。そして博物館や市役所の方々をはじめとした地域の方々の協力を得ながら、この地域の一員としてこの地域を盛り上げていこうと行動する自己の生き方を考えることができる探究課題である。

II 本時の学習（2 / 24）

1 ねらい 効果的なPRの方法を話し合う活動を通して、岩宿遺跡の魅力についてどのような方法で、どのような内容を伝えるかを考えることができるようにする。

2 準備

（教師）タブレット、過去の学習活動の写真や掲示物

（児童）タブレット、振り返りシート

3 展開

主な学習活動 児童の反応・発言等〔S〕	主な発問	時間	○指導上の留意点 ☆ICTの活用◎評価項目
1 前時の学習を振り返り、本時のめあてをつかむ。		5	○どのような学習活動をしていくのか、見通しがもてるように、笠懸町にはどんな魅力があるのか調べたことや、その魅力を発信しようと決めたことを想起し、体験活動の時の写真や岩宿博物館の来館者数などのグラフを掲示しながら確認する。
	〈めあて〉 岩宿遺跡の魅力を伝えるPRの方法や内容を考えよう！		
2 PRの方法にはどんなものがあるか、全体で出し合う。 S：ポスター・新聞（掲示物） S：動画やホームページ（インターネット） S：パンフレット（配布物）		3	○多様な方法を思いつけるように、今までに学習したことや、日常生活の中で目にしたPR方法などを思い浮かべるように助言する。

<p>3 出てきた PR の方法について、相手意識と目的意識を確認しながらどれが適しているかについて話し合う。 S : ポスターや新聞を多くの人目に付く場所に貼れば地域の人に岩宿を再認識してもらえるきっかけになる。 S : 動画やホームページはより多くの人に見てもらえるし、簡単に拡散できる。 S : パンフレットは持ち帰ってもらえるし、置いてもらいやすいかも。</p> <p>4 PR する内容について、個人で考える。 S : 土器作りは楽しかったな。 S : 三種体験のことも伝えたいな。 S : 岩宿博物館の展示物や行っているイベントなどのことを伝えるのはどうだろう。 S : 岩宿遺跡の展示物や、かつてこの地に住んでいた岩宿人について、自分たちが調べたことを伝えるのもいいかも。</p> <p>5 個人で考えた内容をグループで整理する。 S : 三種体験や土器作りの様子を動画で伝えたら楽しさが伝わるはず。 S : 今はホームページや動画などで情報を得ることが多いと思う。 S : 岩宿人の生活について調べたことも伝えたいと思う。</p> <p>6 グループで出した意見を全体で共有する。 S : 私たちの班のおすすめは〇〇です。 S : その内容も面白そうだね。</p>	<p>10</p> <p>5</p> <p>10</p> <p>5</p>	<p>○誰に対してどんな方法で PR することが、より効果的な PR につながるのかという視点で考えられるよう、児童同士の発言をつないだり、問い返したりする。 ☆思考ツール（熊手チャート）を使いそれぞれの方法について整理する。 ○効果的な PR の方法を選ぶことができるようにするために、児童に身近な経験を想起したり、PR する目的を思い出したりするよう、声かけをする。</p> <p>☆考えをもって話し合いができるようにするために、ロイロノートの付箋を使って自分の思考を表出させる。 ○どんな内容だったら見た人が行きたいと思うかという視点が明確になるよう声かけを行う。 ○考えられない児童には、自分の経験したことなどで楽しかったことなどを想起できるようアドバイスをする。</p> <p>☆ロイロノートを使って考えを共有する。 ○ねらいに沿った話し合いができるようにするために、「目的意識」と「相手意識」を確認しつつ、それに適した「方法」を整理することを伝える。 ○操作中の混乱を避けるために、付箋の操作の約束事を確認する。</p> <p>○他の班の意見をクラス全体で共有できるように、子どもたちの使った思考ツールやロイロノートを、テレビに投影する。</p>
<p>7 まとめと振り返りを行う。</p> <div data-bbox="183 1570 778 1848" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈振り返り〉 S : どんな内容をどのように伝えるかを話し合うことで、改めて岩宿遺跡にはいろいろな魅力があることがわかった。その魅力が伝わる PR になるよう、効果的な PR 方法を考えていきたい。</p> </div> <div data-bbox="183 1865 778 2000" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〈つなぐ〉（次時の活動予定） PR する内容や方法、分担などについてさらに具体的に考え、決定する。</p> </div>	<p>7</p>	<p>○本時の学習を整理し、次時の活動の見通しが持てるようにするために、振り返りシートに記入させる。</p> <div data-bbox="882 1682 1487 1960" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◎評価項目（思・判・表）</p> <p>振り返りシートの記述内容から、「地域の魅力についてどのような方法で、どのような内容を伝えるかを考えることができたか」を評価する。</p> </div>

